

松盧翁之墓

(素行堂松鱸の墓所)

<制作> ©朱雀洞文庫
尾藤 一泉
東京都北区栄町 38-2
TEL : 03-3913-0075
issen@doctor-senryu.com

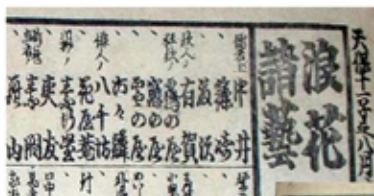
素行堂松鱸は、飛騨高山生れの医師で、江戸に出て医学を学ぶ傍ら、二世川柳の門に入り、柳多留 83 篇に初出。文政 12 年、高山に戻って地元俳風狂句を鼓吹。天保元年には大坂で開業し、また、「東都川柳側素行堂松鱸」として、地元連衆を集めた月並みを開き、さらに「梅柳」を刊行して江戸の川柳を大坂に移す濫觴となった。嘉永 6 年 12 月 26 日没。



圓通院墓地

大石内蔵助実父・権内良昭墓
大石信清実父・八郎兵衛墓

「狂句むめ柳」初編（朱雀洞文庫蔵）

天保期の大坂の番付
「浪花諸藝 玉づくし」
(川柳素行堂)という
記載が見て取れる。

露天神社拝殿

圓通院

圓通院（曹洞宗・大阪府大阪市北区兎我野町 7-9）

圓通院は、御堂筋からお初天神通りに入り、曾根崎町から新御堂筋の高速道路下の交差点を渡った先の兎我野町にあります。大石内蔵助の父親・大石権内良昭と同じく四十七士の一人、大石瀬左衛門の父・大石八郎兵衛の墓所があることで知られます。

要対処

- ※ 昭和 9 年に本田溪花坊の著書に紹介されて以来、戦後存在は未詳であった。
- ※ 現在、地域でも同寺でも文化的価値は知られておらず、単なる無縁墓扱いとなっており、文化財としての登録と周知が求められる。
- ※ 風化により、墓石自体の傷みが酷く、表面が剥離して破損の恐れが大きい。